

2024年10月10日

学修行動・成果アンケートについて（1年生・2年生）

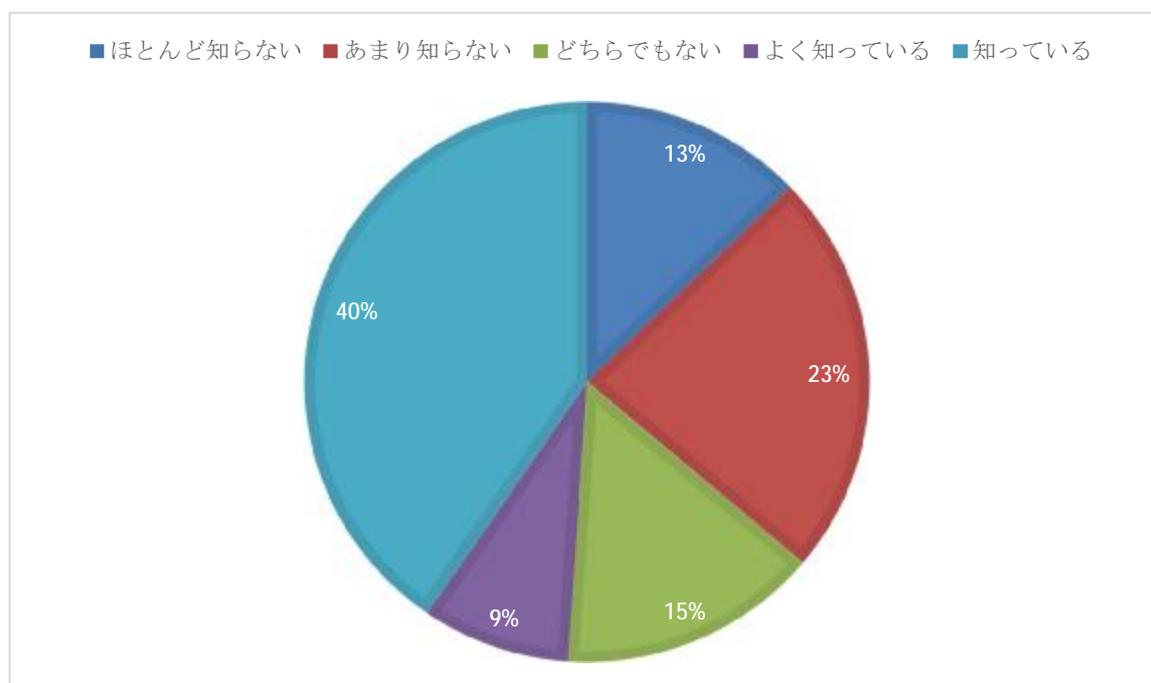
学長室
教務委員会

高千穂大学では、学長室・教務委員会の共同事業として新入生を対象とした学修行動・学修成果に関するアンケート調査を実施しております。2022年度から始まった調査で継続的に実施されることで、高千穂大学での学びの状況についてアンケート調査を用いて、全学的な状況を明らかにするものとなっています。

本アンケートは大学の学風の指針、目標についての理解、学修行動（出席状況、取り組み）、教養・専門知識、スタディスキル、社会人基礎力について問うております。それぞれの結果については以下の通りです。

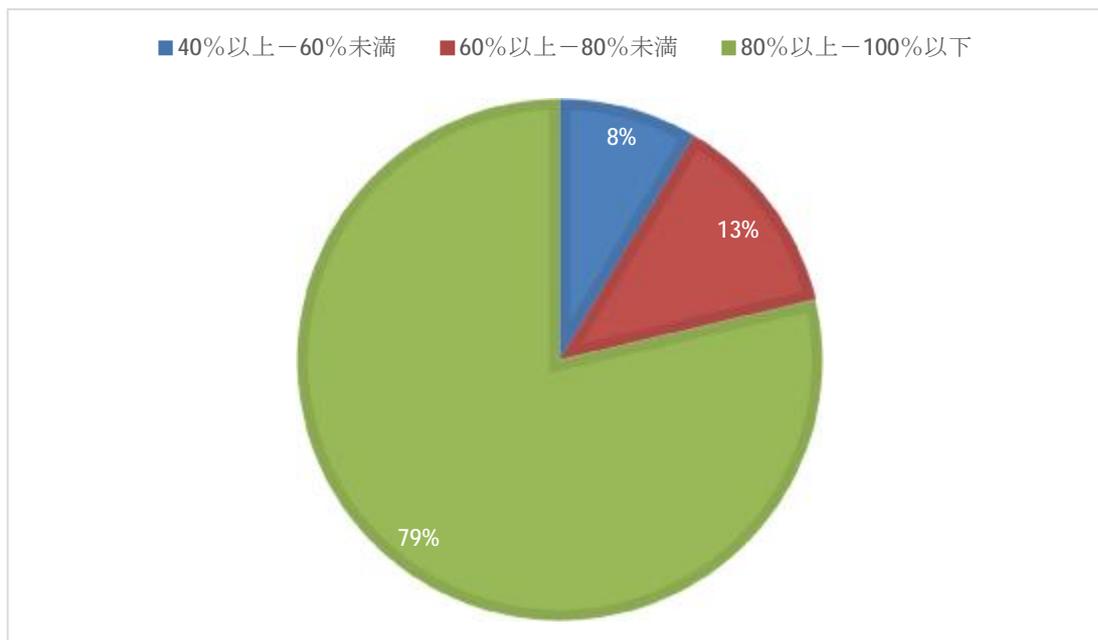
1. 高千穂大学の「学風の指針」「学風の目標」について知っていますか。

高千穂大学の学風の指針および学風の目標については入学式やオリエンテーションにて案内をしている。

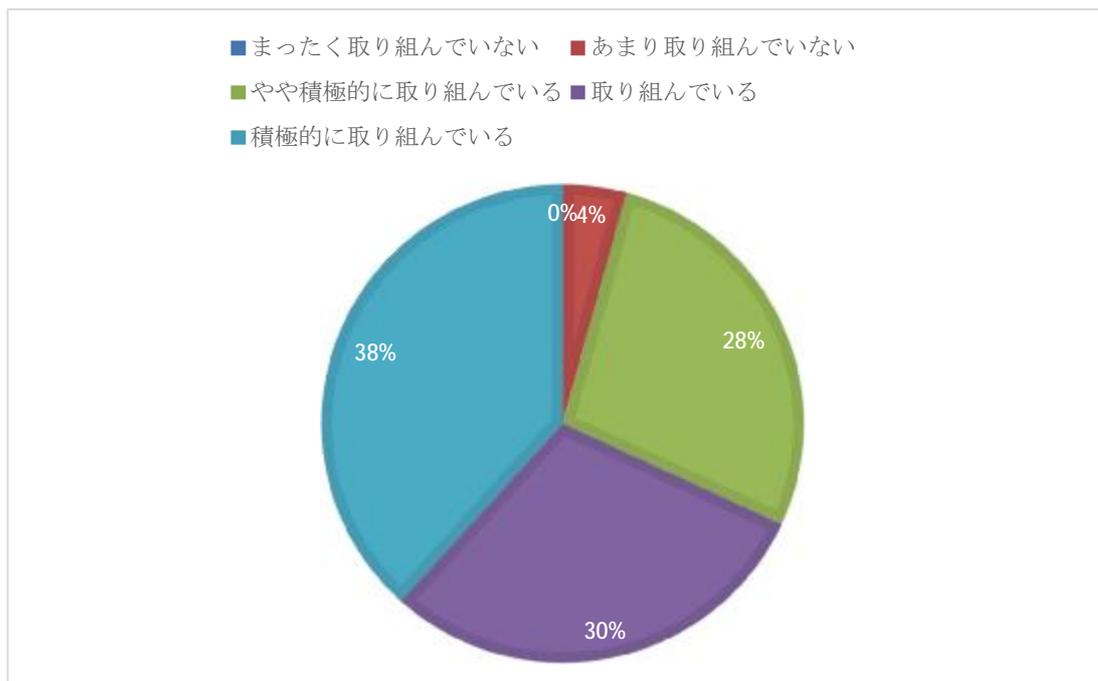


「よく知っている」と「知っている」を合わせて約半数の学生が本学の学風の指針と学風の目標を理解している状況にある。この状況において本学の学びのための基本的な準備状況が整っていると考えることができる。

2. 授業に出席している割合

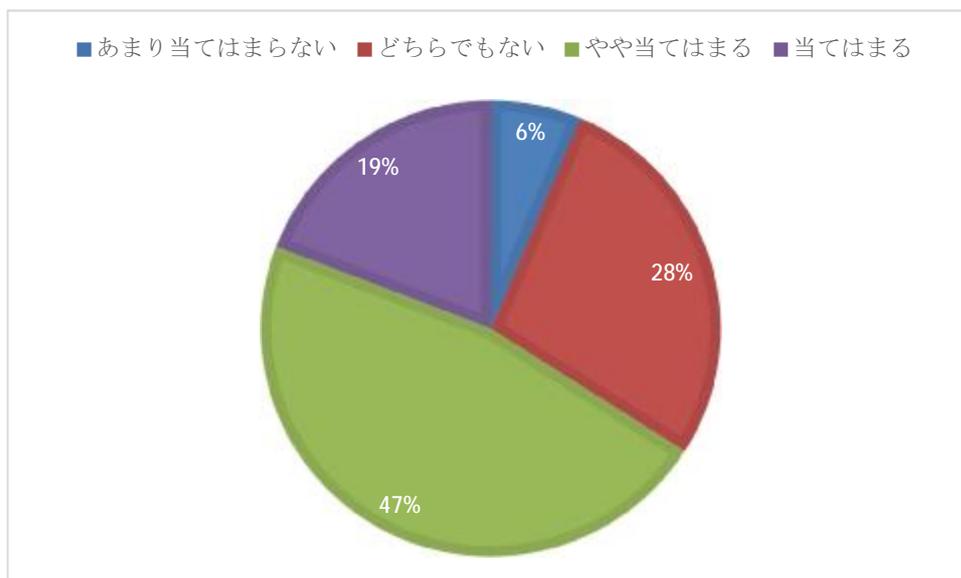


3. 授業に対する積極的取組

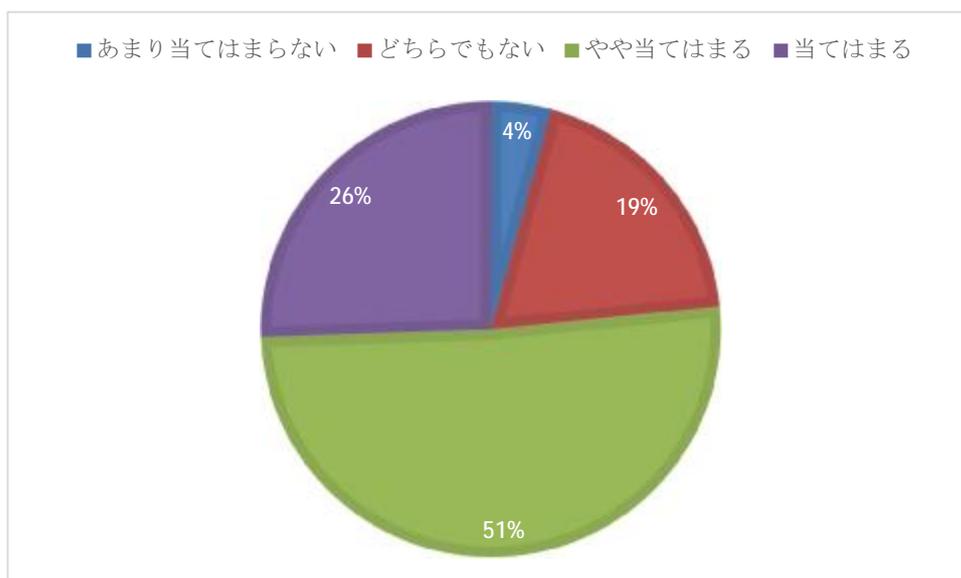


授業への出席を各種オリエンテーションおよび授業等にて呼びかけていることもあり、一定の出席がみられる。また授業でも積極的に取り組んでいる姿勢がみられる。

4. 幅広い知識や教養を身につけている

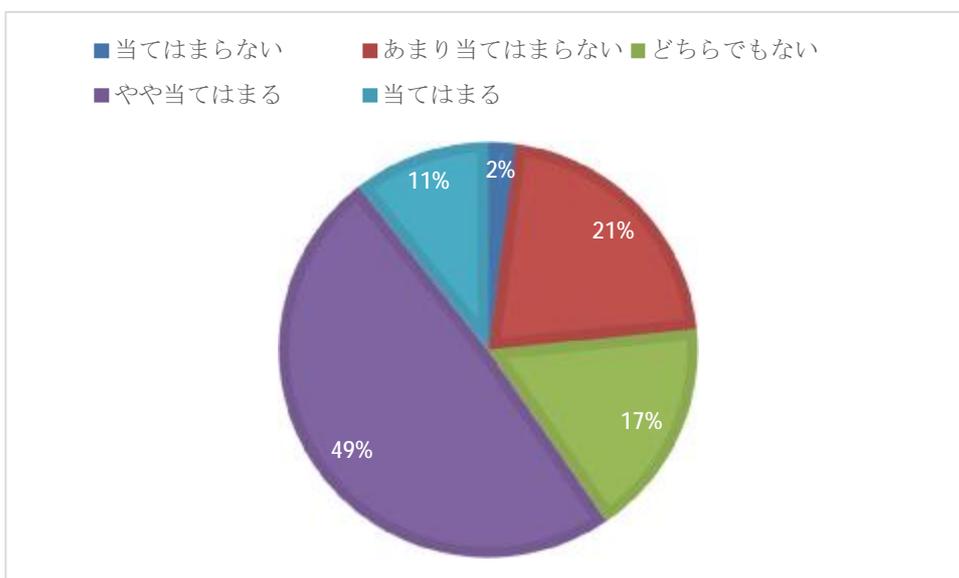


5. 学部・学科で学ぶ専門知識を身につけている。

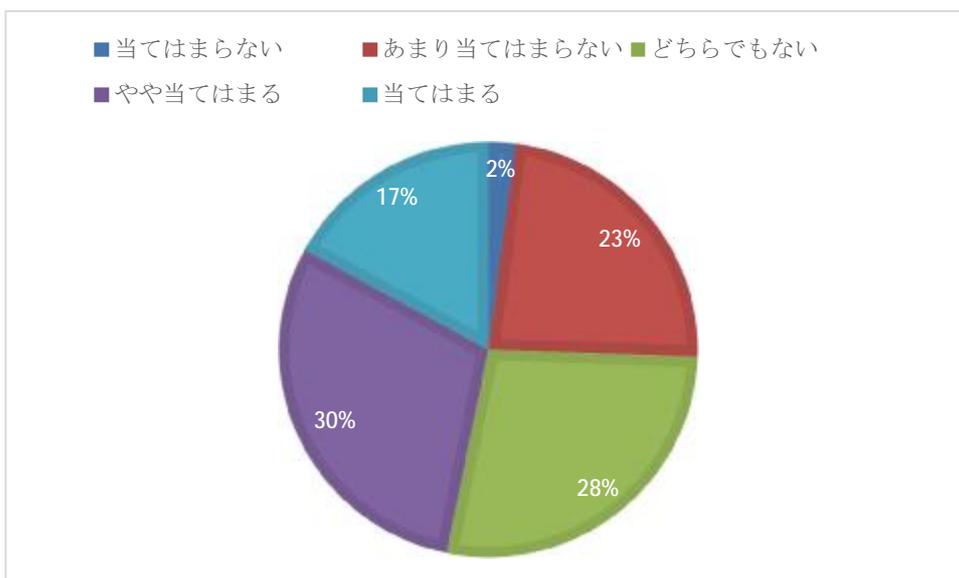


コメント：教養科目、専門科目の知識も身につけていることがうかがえる。本学では、1年次から教養科目と専門科目をバランス良く導入し、履修出来るようにしていることの結果が表れていると言える。

6. レポートの作成で必要となる情報収集技能を持っている

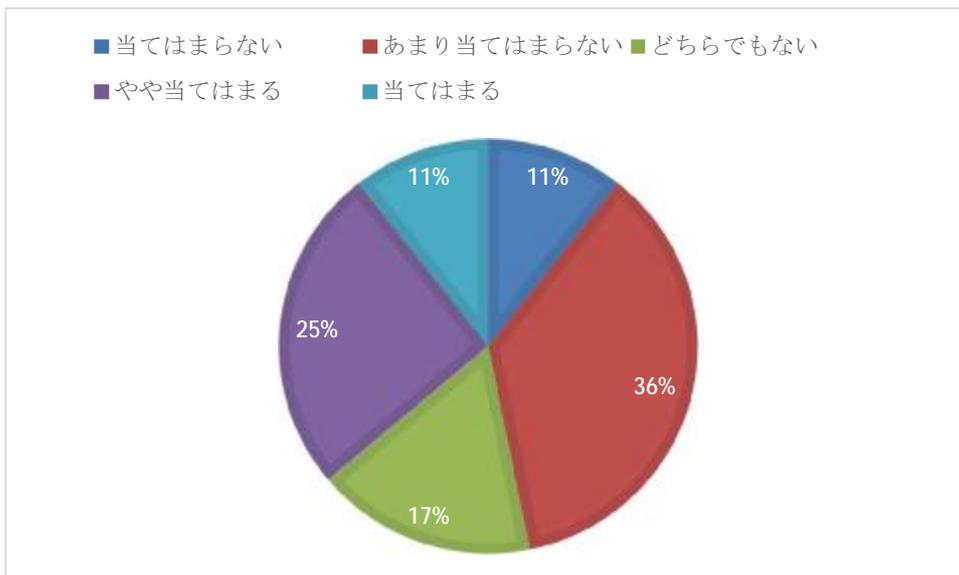


7. レポート作成に必要な文章作成技能を有している



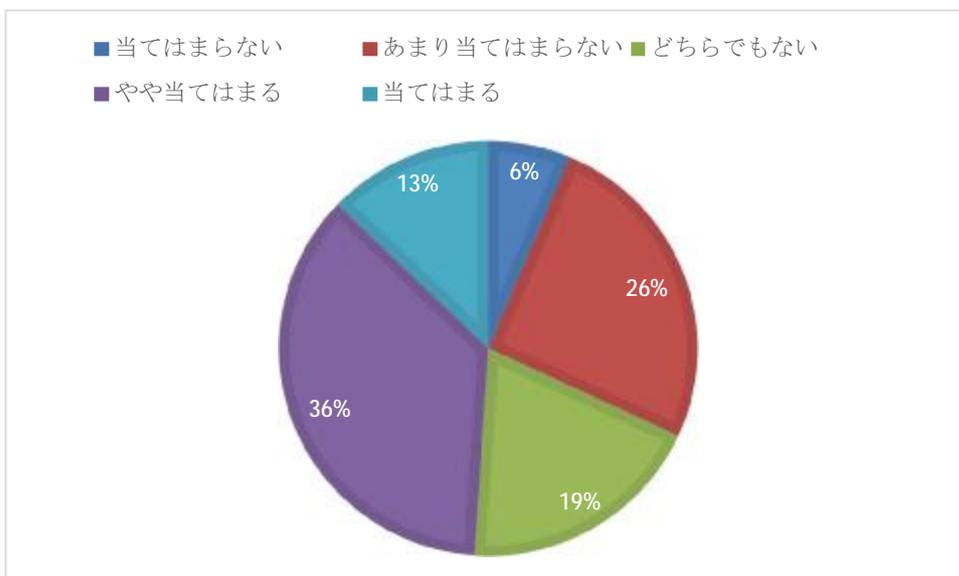
コメント：コロナ禍をへて、授業内でのレポートが増えてきている。そのため、LMS（学習管理システム）を利用した課題を提示していることでレポート作成能力が向上しているということができよう。

8. プレゼンテーション能力を有している

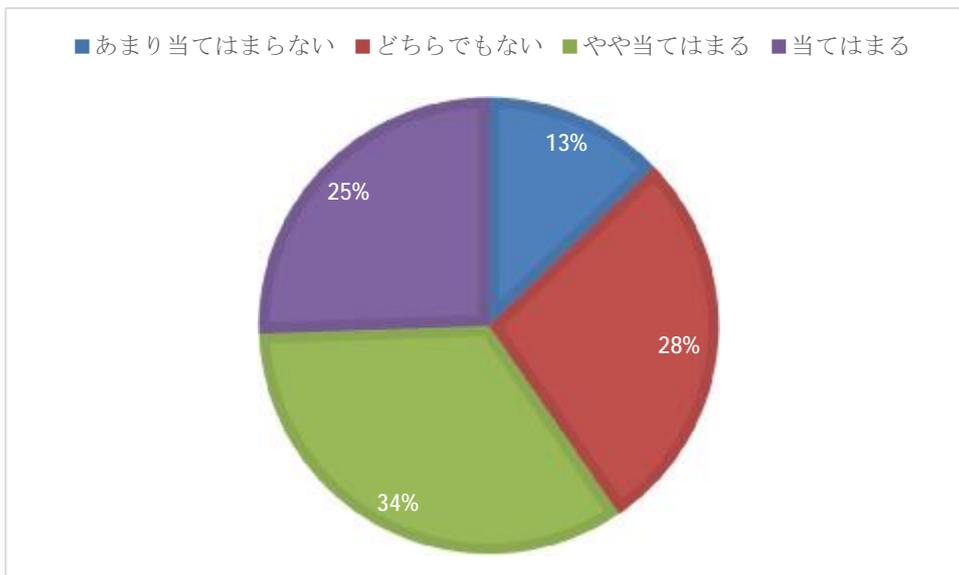


コメント：プレゼンテーションについては、本学では特に3年生の発表会を通じて身につけることになると思われる。そのため、これから修得する項目になると思われる。

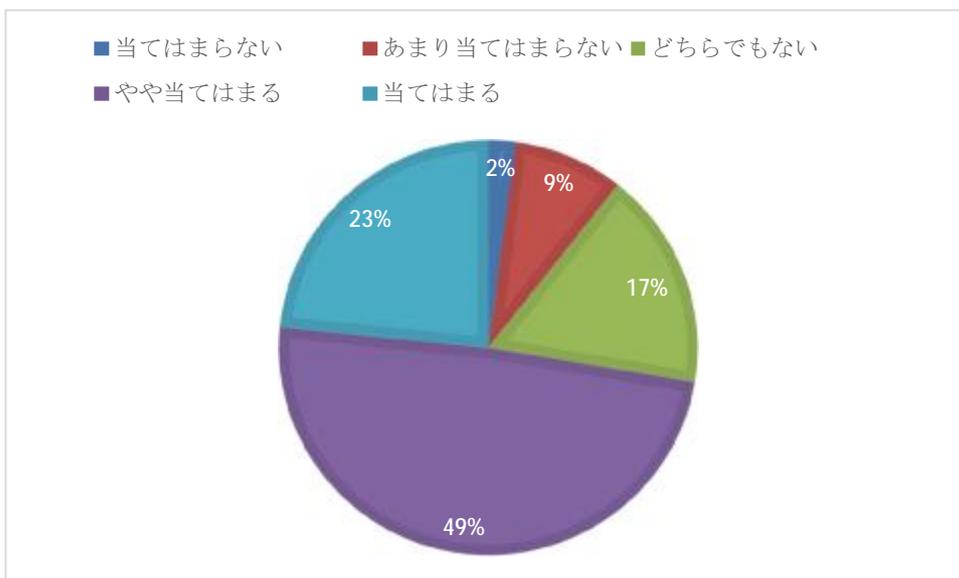
9. 前に踏み出す力が身についている



10. 考え抜く力が身に付いている



11. チームで働く力が身についている



コメント

この3つの質問は、社会人基礎力の要素である「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」について問うている。これらについては大学生活で修得するものであり、現状については回答の結果となっている。

以上